



平成28年度 第5回まなびあいサロン

テーマ：『先輩のお父さんから学ぼう』

アドバイザー：本校卒業生保護者 藤田 安宏 氏



12月15日（木）、第5回まなびあいサロンが行われました。

今回は、本校卒業生保護者の藤田安宏様にアドバイザーをお願いし、御自身の子育てについて、父親の立場からお話ししていただきました。

お子様は1歳半で聴覚障がい分かり、医療機関での療育と並行して聾学校の早期教育相談に通い、その後、幼稚部から高等部まで聾学校で学ばれました。現在は社会人として元気に仕事に励んでおられます。

子育てで大切なことは家族全員で支え合い、協力し合うことで、まずコミュニケーションを取るために家族皆で手話サークルに通ったそうです。お子様にはピアノや習字、同年代の子どもとの交流など、いろいろ経験させましたが、強制的にならないように気をつけたそうです。小学校はお子様の意見を尊重し聾学校に決めましたが、小3の夏休みに、お子様の希望で地元の学童教室にも通わせました。補聴器を嫌がる時期もありましたが、必要だと分かると自分からつけるようになりました。「どうして聞こえないの？」と聞かれるときが必ず来ます。「聞こえないことは恥ずかしいことではない。聞こえないからよろしくね。」と言えるようになる子どもの心の変化に、いかに親が気付いていくかが重要だそうです。成長と共にいろいろトラブルにも遭遇しましたが、トラブルから学ぶこともありました。



また、「親父の背中を見せる」ことが大事と考え、PTA活動にも力を入れられたそうです。PTA活動を通して同じ境遇の親御さん達とお子様のことや聾学校のことなどについて、膝をつき合わせて語り合ったことは本当に貴重な経験だったそうです。

最後に、「お子さんと雑談ができるような関係を作ってください。」と、参加された保護者の皆様へエールが送られました。

和やかな雰囲気の中にも、日々子育てに奮闘されている保護者の皆さんの真剣なまなざしを感じられるサロンでした。

参加者の感想

- ★ 密な親子関係を作っていけば、多少ぶつかっても大丈夫なのだと教えていただきました。「雑談」できるように、家族全員で頑張っていこうと思いました。
- ★ 子どもの今後の成長や学校のことなどを悩んでいましたが、もやもやした気持ちが少し解消しました。家族と協力し合い、頑張りたいと思います。